



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月7日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	52,459	△3.2	2,356	67.8	2,861	43.4	2,250	112.7
28年3月期第3四半期	54,214	△0.1	1,404	—	1,995	—	1,058	△79.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △2,297百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △401百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	21.44	—
28年3月期第3四半期	10.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	104,395	56,234	53.8
28年3月期	107,312	59,946	55.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 56,177百万円 28年3月期 59,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
29年3月期	—	2.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	0.8	1,500	20.4	2,200	4.1	1,600	40.5	15.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	111,452,494株	28年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	6,494,843株	28年3月期	6,485,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	104,963,593株	28年3月期3Q	104,978,685株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気に一部改善の遅れがみられましたが、企業収益は高い水準にあり、個人消費も持ち直しの動きがみられたため、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国の大統領選挙結果や金融政策正常化による影響、中国やアジア新興国等の経済成長の減速等による世界経済の弱さが見られるなど、わが国の景気が下押しされるリスクがあり、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、今年度は山村グループにおいて、「続・反転攻勢」をキーワードとして掲げ、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびん需要が前年同期比で減少した影響を受けたこと、中国の子会社では、中国国内向けの売上が減少したことと為替が円高に振れた影響を受けたこともあり、セグメント売上高は37,085百万円（前年同期比3.5%減）と減収となりました。当社ガラスびんカンパニーの減価償却費と外注費等の費用増はありましたが、稼働日の増加による生産増の増益要因、燃料価格が引き続き安定したこと等により、セグメント利益は1,448百万円（前年同期比110.1%増）と増益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、当社プラスチックカンパニーにおいて、新製品のディーブグリップボトル（把手とボトルが一体成型された大容量4.0Lペットボトル）を上市したこと、国内外で飲料用キャップの出荷が引き続き伸長したこともあり、セグメント売上高は4,548百万円（前年同期比1.1%増）と増収となりました。セグメント利益は、国内のプラスチックキャップの販売・生産増による増益要因、国内外の原料価格の下落等により、489百万円（前年同期比503.0%増）と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、取引先の業務再編による営業所統合や閉所等の影響、取り扱い物量の減少等があり、セグメント売上高は7,286百万円（前年同期比6.4%減）と減収となりました。セグメント利益は、不採算営業所の価格改定交渉、費用削減、作業効率改善等に努めてきましたが、新規営業所の初期費用、人材確保のための労務費、営業所閉所費用等が増加したことにより、50百万円（前年同期比72.8%減）と減益となりました。

なお、平成28年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村ロジスティクス株式会社を分割承継会社とする会社分割（吸収分割）を行っております。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社ニューガラスカンパニーの電子部品用粉末ガラスの出荷が引き続き堅調に推移したため、セグメント売上高は3,537百万円（前年同期比1.0%増）と増収となりました。セグメント利益は、山村フォトニクス株式会社の減価償却費等の固定費増、海外向けキャップ製品の価格改定等により、213百万円（前年同期比14.0%減）と減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は52,459百万円（前年同期比3.2%減）と減収となりました。連結営業利益は2,356百万円（前年同期比67.8%増）と増益となり、持分法による投資利益は840百万円（前年同期比6.8%減）となりましたが、連結経常利益は2,861百万円（前年同期比43.4%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,250百万円（前年同期比112.7%増）と増益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期における通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,061	13,912
受取手形及び売掛金	19,739	20,611
商品及び製品	6,637	6,875
仕掛品	281	345
原材料及び貯蔵品	2,772	2,937
その他	2,035	1,570
貸倒引当金	△70	△46
流動資産合計	45,457	46,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,489	7,912
機械装置及び運搬具（純額）	9,540	9,351
工具、器具及び備品（純額）	682	619
土地	10,333	10,332
建設仮勘定	1,299	1,904
有形固定資産合計	30,345	30,121
無形固定資産		
のれん	1,864	1,440
その他	1,786	1,555
無形固定資産合計	3,651	2,995
投資その他の資産		
投資有価証券	4,437	4,721
関係会社株式	21,795	18,744
退職給付に係る資産	1,117	1,026
その他	527	597
貸倒引当金	△19	△17
投資その他の資産合計	27,858	25,072
固定資産合計	61,855	58,189
資産合計	107,312	104,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,159	8,197
短期借入金	10,111	7,091
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	449	772
賞与引当金	587	238
役員賞与引当金	15	17
環境対策引当金	0	24
その他	5,621	5,415
流動負債合計	26,046	21,857
固定負債		
社債	1,800	1,700
長期借入金	12,222	17,787
リース債務	1,614	1,224
環境対策引当金	34	9
退職給付に係る負債	3,231	3,277
繰延税金負債	1,649	1,585
その他	767	719
固定負債合計	21,319	26,303
負債合計	47,366	48,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	16,697
利益剰余金	27,637	29,362
自己株式	△1,230	△1,231
株主資本合計	57,782	58,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,401	1,668
繰延ヘッジ損益	△263	△39
為替換算調整勘定	1,498	△3,620
退職給付に係る調整累計額	△933	△733
その他の包括利益累計額合計	1,701	△2,725
非支配株主持分	462	57
純資産合計	59,946	56,234
負債純資産合計	107,312	104,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	54,214	52,459
売上原価	43,787	41,055
売上総利益	10,426	11,403
販売費及び一般管理費	9,022	9,047
営業利益	1,404	2,356
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	60	80
持分法による投資利益	901	840
その他	404	458
営業外収益合計	1,371	1,383
営業外費用		
支払利息	403	337
租税公課	87	237
その他	289	302
営業外費用合計	780	878
経常利益	1,995	2,861
特別利益		
固定資産売却益	—	6
投資有価証券売却益	—	320
環境対策引当金戻入額	30	—
特別利益合計	30	327
特別損失		
固定資産売却損	20	—
固定資産廃棄損	77	6
支払補償金	—	166
特別損失合計	97	173
税金等調整前四半期純利益	1,927	3,015
法人税、住民税及び事業税	421	899
法人税等調整額	489	△80
法人税等合計	911	818
四半期純利益	1,016	2,196
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△41	△54
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,058	2,250

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,016	2,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120	266
繰延ヘッジ損益	△25	223
為替換算調整勘定	△170	△1,169
退職給付に係る調整額	0	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,342	△3,837
その他の包括利益合計	△1,418	△4,494
四半期包括利益	△401	△2,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△351	△2,176
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	△121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,431	4,499	7,780	3,503	54,214	—	54,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	286	7,920	5	8,215	△8,215	—
計	38,434	4,785	15,701	3,508	62,429	△8,215	54,214
セグメント利益	689	81	184	248	1,203	200	1,404

(注) 1. セグメント利益の調整額200百万円には、セグメント間取引消去等100百万円、その他の調整99百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,085	4,548	7,286	3,537	52,459	—	52,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	348	8,019	5	8,374	△8,374	—
計	37,087	4,897	15,305	3,543	60,833	△8,374	52,459
セグメント利益	1,448	489	50	213	2,201	154	2,356

(注) 1. セグメント利益の調整額154百万円には、セグメント間取引消去等94百万円、その他の調整60百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。